



# 蒼天の翼



## Program

- ◆ 校長あいさつ
- ◆ 卒業に寄せて
  - ・ 3 学年長あいさつ
  - ・ 保護者から
  - ・ お世話になった先生より
- ◆ 平成25年度卒業表彰
- ◆ 大会結果報告
- ◆ 生徒の活動から
  - ・ 産業技術科
  - ・ 生産技術科
- ◆ 来年度に向けて
  - ・ 1、2 学年主任あいさつ
  - ・ P T A 会長あいさつ
  - ・ 平成25年度進路決定状況



## Produced by

P T A 調査広報委員会

「蒼天の翼」題字 千葉明美(3 B)

殺風景な雪景色の中で、本校農場のツルウメモドキの木が、冷たい雪に負けず元気なかわいらしい赤い実をのぞかせています。たくさんの小さな赤い実たちは、力強い春の予感を感じさせてくれます。卒業生のみなさん、千厩高校での思い出を胸に、それぞれの夢に向かって力強く羽ばたいてください。



# 身体を動かすことの大切さ

校長 入駒 智

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動に対してご理解とご協力をいただきまして厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年の十二月、文部科学省が今年度の学校保健統計調査の結果を公表しました。本県の報道機関がその中から肥満傾向の児童・生徒に関する記事を掲載していました。「肥満に注意！岩手の子供たち 十歳女子の出現率、全国一位」という見出しでした。また、岩手県の調査統計課も今年度の学校保健統計調査結果を発表しました。それによりますと肥満傾向児の出現率は男女とも五歳から十七歳まで、すべての年齢で全国値を上回っているというものでした。さらに、高校生に関して言えば女子生徒に高い出現率が表れ、男子生徒に関しては過去五年の平均値と比較して今年度の数値がそれを上回る結果となりました。肥満傾向については、本県では従来から全国平均を上回る水準で推移し、今回の調査においてもその傾向が現れたものであり、肥満対策は本県の喫緊の課題となっております。

肥満とは体脂肪が過剰に蓄積された状態のことを指しますが、脂肪が体に残るといふことは、摂取したカロリーが燃焼しきれないということを表しています。それでは昔に比べてカロリーを摂り過ぎているのかというと、そうではなく、むしろ最近の方が総カロリーの摂取は少ないというデータが出ています。つまり、摂取カロリーの問題ではないということは、消費カロリーに問題があるということになります。

考えられる要因として食生活はもちろんのこととして、本県を含め東北地方は冬の寒さ、積雪の影響などから運動不足になりがちで肥満が多い傾向にあること、さらに地方では車移動が生活の中心となり徒歩での移動が少なくなっていることなどが挙げられています。特に高校生は通学距離が長く、保護者に車で学校まで送られることなどが原因ではないかという指摘も出ております。

このことに関して本校の現状を申し上げますと、通学に自家用車を利用している生徒の数は全校生徒の半数近くにのぼっており、この数字は県内の高校と比較した場合、かなり高い数になります。そして本校も学年、性別によって違いはあるものの、肥満傾向の生徒が多くいるというデータが出ており、すぐ気になるところであります。もちろん、本校から自宅までの通学距離、JRやバスの利便性、交通機関を利用した場合と自家用車利用との負担経費の差額等、各ご家庭によって条件は様々ですが、短絡的に徒歩通学、自転車通学、公共機関の利用を推奨するわけにはいかないことは重々承知しております。

一方、体を動かすことと肥満との関連性は疑う余地のないところであり、健康生活を考える上で、避けては通れないものであると考えられます。日常的に体を動かす機会も他に確保されるわけですが、これほど、手軽に確実に活用できる手段であることは紛れもない事実であります。各ご家庭におかれまして、ご考いただければ幸いです。

# 卒業に寄せて

## いつまでも学び



三学年長 藤原 良男

卒業おめでとうございます。光陰矢のごとし。入学して3年の月日は、月並みですが「アツという間」でした。千厩高等学校で過ごした3年間は、大人として心と体、大きな成長があったと思います。この場をお借りして、普段生徒諸君に語っている内容をお伝え致します。

○ルーティン(繰り返す生活習慣)から学ぶこと

まず、はじめに2人の有名人を紹介致します。1人目は、19世紀のドイツの哲学者「イマヌエル・カント」。2人目は、ご存じ、大リーガーの「イチロー」こと鈴木一郎選手。この2人の共通点はともに、毎日の行動パターンが常に決まっています。カント…毎日あまりに時間に正確に行動するため、カントの散歩の通り道にある家では、彼の姿を見て時計の狂いを直したという。

イチロー…試合前の昼食は決まってカレーライス。球場入りの時間、ベントからバッテリーボックスまでの歩数、いつものバッティングスタイル。結果、連続年間200本安打の偉業、日米通算4000本安打には、8000本の失敗

(凡打がある、は名言。

私がふり返って考えると、あることが分かった。それは、些細な変化に気づけることだった。逆に、同僚がいつも異なる自分の変化に気づいてもらえなかったのだ。駐車場の位置が変わっていたこと、渋滞で10分遅く出勤すると、「いつもより遅いね」の一言。いつも早い時間に登校する生徒が、今日はいない。風邪で欠席？公欠？と心配したものである。

○普段通りが実は重要なことだったことを学ぶ

東日本大震災は、我々に様々なことを学ばせてくれた。3年前のあの日は、普段の生活がかなりの面で制限され、我慢を強いられた。いかに普段通りの生活が快適で、便利なものだったのかと。

「いなくなつて分かる親の恩。」後悔先に立たず。「昔からこうした数々の格言が残されている。

毎日の生活の些細なことに気づける心の余裕が欲しい。自宅前沢から千厩へ通勤もはや5年。

毎日見慣れたはずの通勤風景も、少し車を止め、深呼吸するとその周囲は、新

しい風景に思われる。

○本来の学び

「勉強」…人から言われて行動する。「強(し)いて勉(つと)めるもの。(強制的)」「学習・研究」…自ら学ぶもの。「習い学ぶもの。(主体的)」

前者は初歩的段階に行われ、見様見真似の状態を意味する。学びの語源が「真似る」「まねぶ」から来ているという。後者が本来我々の理想とする姿。自主性が問われる。足元に落ちていく塵を例にとつていえば、強制されて拾うことに対し、自ら進んで捨てることでは後味が違ってくることは言うまでもない。小さな疑問が大きな発見につながる。学問の第一歩である。勉強がつまらないとよく耳にする。「つまらない世の中を、面白くするのは、自分の心なり」高杉晋作。学習という研究の域に達すれば、学校の風景が一変するはず。さらに、学問には面白さとユーモア感が必要と考える。例えば、「夕焼け空はなぜ赤い。空が照れているからか。じゃあ青空は・・・」雪が溶けると何になるのか。水。いやいや春になる。「なぜなのか」「どうしてそうなるのか」と思う姿勢が大事。

保護者から

何事もプラス思考で

三年A組保護者 及川 進(智恵)

三年生の皆さん、ご卒業おめでとう、ございます。三年間短いながらも、たくさんの思い出が出来た事だと思えます。勉強だけでなく部活動では、私達保護者も、たくさんの感動を味わう事が出来ました。また仲間同士の絆を感じ取る事も出来たと思えます。指導して下さいました先生方への感謝の気持ちを忘れずにほしいと思えます。これから新たな進路に向かう事で、楽しみな反面、不安もあるかと思いますが、自分を見失わず、自分を信じて何事もプラス思考で、明るく歩んでほしいと思っております。いろんな事を学んで一步一步成長していく事を願っています。

最後になりましたが、校長先生はじめ諸先生方に心より感謝申し上げます。



感謝の心を忘れずに

三年B組保護者 千葉恵美子(静穂)

三年生の皆さん、ご卒業おめでとう、ございます。入学してからの三年間は勉強・部活動やボランティア活動・進路に向けて取り組み、日々成長し、仲間との絆も深まった事でしょう。四月からは、それぞれの道へ歩んでいきますが、時には厳しく、時には優しく見守ってくれた先生方や保護者の皆さんへの感謝の心を忘れないで下さい。社会へ出て、これから先もいろいろな困難にぶつかる事もあるでしょう。困難は人を逞しくしてくれます。そして、人を成長させてくれるチャンスでもあります。くじけず自分の夢を信じて下さい。そして、感謝の心と笑顔を忘れずにいて下さい。一緒に成長してきた仲間の存在も大きな力となります。これからの出会いも大切にして、心の財産をいっぱいにして下さい。

最後になりましたが、これまでご指導いただきました校長先生はじめ、諸先生方に心より感謝申し上げます。

自分を信じて羽ばたけ

三年C組保護者 小山 文子(利子)

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう、ございます。

三年前、まだ幼さが残っていたままの入学式。ついこの間のように思えます。部活動や学校行事をしていくうちに、どんどん大人に近づいてきていることを実感しました。

四月からは、それぞれの夢に向って歩み始めますが、一つだけ、はなむけの言葉を送りたいと思います。それは「自分を信じ、自信を持つこと」です。新しい道へ進む時は、誰でも不安でいっぱいだと思います。

しかし、自分の良き理解者は自分なのです。自分の可能性を信じ、飛躍して行ってほしいと思います。

最後に、これまで温かく、時には厳しく、御指導いただきました諸先生方へ、心より感謝申し上げます。



思う存分生きてみよう

三年D組保護者 佐藤 徳幸(陽春)

「3・11」この数字は、皆さんが入学した年の大地震「東日本大震災」が起こった日として、記憶に残る数字となりました。この日を境に、人生が大きく変わった人もいる事と思えます。予定されていた入学の準備は間に合うのか。教科書は？制服は？入学式は？と、慌ただしい年度末だった気がします。そして、一番人々の事を考え、思いやり、協力し合った年にもなったと思います。

あれから三年間、皆さんはいよいよ卒業です。自分は何をしたのか、そして何が出来るのかを考え、それぞれの人生を大切に

に生きてください。自分の思うようにならなくて当たり前、何が起るかわからなくて当たり前なのが人生です。

「悔いのない人生を思う存分生きてみよう」  
あらためて卒業おめでとう「ございます」  
そして今まで温かく見守って下さった先生方、本当にありがとうございます。

### 活躍を期待して

三年E組保護者 小山 洋美(大成)  
三年生の皆さん、ご卒業おめでとう「ございます」  
います。

青春真只中の高校生活。あつという間の三年間だったのでないでしょうか？あんなに苦しかった応援歌練習も、思い通りにならなかった部活動も、毎日毎日続く学習も、今となつては全て良い思い出になつていませんか？人間は日々進歩しています。これから起る「無理」と思えることも時が経てばなんなくクリアできるものです。へこたれず、逃げず、立ち向かつて行つてください。また、人との出会いに偶然はありません。全て会うべきして会つた大切な出会いだと



### 保護者から

私は思います。千厩高校の三年間で出会つた先生方、先輩、同級生、後輩。これからの人生の中で大切な宝物になることでしょう。

これからステップアップして進学する方、就職をして社会人となる方、新しく広がる世界でこれまで身に付けた力を大いに発揮し活躍してください。

最後になりましたが、これまでご指導いただきました校長先生をはじめ諸先生方に心より感謝申し上げます。



### 出会いを財産に

三年F組保護者 村上 和子(翔太)

三年生の皆さん卒業おめでとう「ございます」。今日までの出会いや震災などの経験とえのない財産になつていっているのではないのでしょうか。

四月からは新しい環境で今まで以上にいろいろな体験や出会いの場が広がると思います。自分で自分の人生を切り拓いていき、一生つきあえる友達を沢山つくり、出会いを大切に悔いのない人生を歩んでいってほしいと願つてます。

最後になりましたがこれまでご指導をいただきました校長先生をはじめ諸先生方に心より感謝申し上げます。

### お世話になつた先生より

### 「言葉」は楽しい！



千葉 進

先日、藤沢高校での教え子から電話があり、彼女曰く「先生、退職ですか？退職前に皆で会いましょう！」とのことでした。

確かに、私はこの三月で三十五年間の教員生活を閉じることになっていますし、授業等でも自分から「退職だ。」と言つていました。しかし、本音で言えば「俺はまだ若く、青春は年齢ではなく気持ちだ。還暦だなんて自覚できないし、まだまだやれるはずだ。」  
と思ひ、鬱々としていた面もありました。それがこの頃は、体力的な衰えを感じるようになり、周りから（責任転嫁です）「退職？ 第二の人生は？」と聞かれることが多く、それに対しては「再任用を希望しています。」と答えていました。

この学年末、二年の古典で『項羽と劉邦』を教材としており、『将来は「四面楚歌」にはなるなよ。』「拔山蓋世」の気概で物事に挑戦しろよ。』などと言いながら、この四字熟語を扱いました。私の場合、退職後の「生活、第二の人生、夢」を考えた時（再任用とは別に）すぐに浮かぶのは「晴耕雨読」という四字熟語です。退職後は好きな読書に没頭しながらも、さらには「言葉にこだわつてみたい」、「言葉のおもしろい解説をしてみたい」と思うようになってきています。

私の大好きな三省堂の『新明解国語辞典』（特に第四版がお勧めです）。この辞典から例として二つあげてみます。

「動物園」〈捕らえて来た動物を、人工的環境と規則的な給餌により野生から遊離し、動く標本として都人土に見せる、啓蒙を兼ねた娯楽施設。〉

「馬鹿貝」〈大きさはハマグリの二枚貝。波の静かな、晴れた日に、貝の口から舌のような赤い足を出す。むきみを「あおやぎ」と言い、貝柱がおいしい。〉

なんとという解説・説明。一般的な国語辞典とは大違いです。さしずめ私は、

「餅搗ぎ」〈岩手県の県南地方では冠婚葬祭に餅はつきものである。特に、高校の文化祭などでは、PTAが餅米の田植えや稲刈りを高校生徒ともに行い、その米を搗いて餅とすること。搗いた餅を来場者に振る舞うと喜ばれる。あんこ・きなこ餅がおいしい。〉  
とてもするとおもしろいのではないだろうかと思つています。

※「新明解国語辞典」で一番おもしろいのは「恋愛」です。ぜひ見て下さい。

### 三十五年間ありがとう



菊池 文博

卒業生、保護者の皆さんご卒業おめでとう「ございます」。

卒業生のみなさんは三年前の入学の時、大きな目標を持って入学されたと思ひますが、卒業を迎えて充実した生活を送り、自分の目標は達成したでしょうか。

私も、農業高校、東高校、千厩高校と石堂校舎に三十五年間お世話になりました。三月で卒業となります。

この間多くの卒業生と出会い、今では卒業生の子供達が早い子で社会人、本校に今数多く生徒として在席しております。学校行事の時は声を聞かせて頂き懐かしさを感じるこの頃です。

社会の中で、生活の中で、生活している時間を守る、挨拶、その場、その場のルールなど大切なことばかりです。私も仕事において成功より失敗の数の方が多いかもしれせん。しかし失敗することによって、また二から工夫して出直そうとする心を励ましてやってきました。

常に相手をなめず、手をぬかず、あきらめず、その気持がなければ失敗した時に人間が駄目になってしまうと思います。いくら努力してもそれが必ずしも結果として報われるとは限りません。

しかし努力する過程によって人間は成長して行くと思います。努力して、みんなに追いつくことが出来なかつたけれども努力したこと自体はいつかわかるはず、それが最後に自分自身に必ずプラスになって返ってくると思います。その日、その時、その場所で心をつくして頑張ってください。

私も今、精一杯やれる事をやりとうしたが、石堂校舎に何を残せたかを考えています。

この三十五年間、多くの卒業生、職員のみなさん、保護者のみなさん、地元のみなさんに出会い支えていただき、ただただ感謝の気持ち一杯です。ありがとうございました。

このご縁を大切に、これからも、日々張りつめたいと思っております。

一、伝統遠き学園の

日に新なる教えあり  
真理の炬燵かがやかに  
今みちのくを照すなり

# 平成25年度卒業表彰

## 1 学校表彰

- ◎皆勤賞(40名) 皆勤賞は、在学期間中欠席、遅刻、早退、欠課が皆無の者
- 普通科(A組) 佐藤 清輝・千葉 優貴・平栗 悠輝・小野寺香奈  
(21名) 小野寺佳奈・加賀 恵・菊池 萌瑛
- (B組) 佐野 真樹・菅原 崇史・山形 佑・小野寺 華  
熊谷 天絵・橋本 菜々
- (C組) 熊谷 翔太・佐々木 慶・千葉 一平
- (D組) 伊東 将希・小山 拓斗・清水 隆也・千葉 悠治  
皆川 璃乃
- 生産技術科(E組) 金野 光希・紺野 信明・熊谷紗耶華・及川 亜矢  
(7名) 小野寺成美・熊谷 美芹・千葉 優未
- 産業技術科(F組) 及川 拓馬・菅野 康成・熊谷 直人・金野 貴裕  
(12名) 佐藤 伸悟・佐藤 充・佐藤 大和・鈴木 惇太  
千葉 勝則・藤野 和希・星 裕士・村上 翔太

## ◎部活動奨励賞

部活名	大会名及び業績	クラス・氏名
書道部	第62回全日本学生書道展 人民日報社賞	千葉 明美(3B)
コンピュータ同好会	第21回全国高等学校ロボット競技大会 全国大会出場	伊勢 昂幸(3F) 岩渕 靖幸(3F) 及川 拓馬(3F) 小山 智明(3F) 小山 大夢(3F) 菅野 康成(3F) 佐藤 葵(3F) 佐藤 伸悟(3F) 千葉 修作(3F) 村上 翔太(3F)

ソフトボール部	2012年岩手県チャンピオン大会 優勝 第45回岩手県高等学校選抜ソフトボール大会 優勝	辻山 愛莉(3C) 小野寺祐希(3D) 小山 大成(3E)
---------	---	-------------------------------------

## 2 教育関係諸団体表彰

- ◎財団法人産業教育振興中央会長賞 生産技術科 及川 亜矢(3E)  
産業技術科 村上 翔太(3F)
- ◎岩手県産業教育振興会長賞  
生産技術科生産科学コース 熊谷紗耶華(3E)  
生活科学コース 熊谷 美芹(3E)  
産業技術科 佐藤 葵(3F)
- ◎全国農業高等学校長協会会長賞 生産技術科 及川 亜矢(3E)
- ◎岩手県学校農業クラブ連盟賞 生産技術科 小山 大成(3E)
- ◎文部科学省認定全国高等学校家庭科技術検定1級(食物・和服・洋服)3種合格  
生産技術科 及川 亜矢(3E)・小山 梨沙(3E)
- ◎全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰  
特別表彰 産業技術科 佐藤 伸悟(3F)  
ゴールド 産業技術科 小野寺伸哉(3F)・小山 智明(3F)  
佐藤 葵(3F)・佐藤 諒(3F)
- シルバー 産業技術科 及川 拓馬(3F)・熊谷 直人(3F)  
鈴木 惇太(3F)・千葉 修作(3F)  
三浦 琢磨(3F)
- ◎財団法人消防試験研究センター岩手支部 危険物取扱者乙種全取得  
産業技術科 佐藤 葵(3F)・村上 翔太(3F)

# 大会結果報告

## (運動部)

### 【バレーボール】

#### ◎第61回県新人大会

- 男子 2回戦 千厩 2-0 盛岡商業  
3回戦 千厩 2-0 水沢工業  
4回戦 千厩 1-2 一関修紅 **ベスト8**  
優秀選手賞 伊藤 翔(2E)
- 女子 1回戦 千厩 2-0 岩泉・宮古北  
2回戦 千厩 2-0 宮古  
3回戦 千厩 0-2 盛岡第三 **ベスト16**

### 【卓球】

- ◎第41回全国高等学校選抜卓球大会個人戦県予選会  
4回戦敗退 菅原 真平(1F)  
3回戦敗退 佐藤 里咲(2E) 須藤 薫(1C)  
2回戦敗退 戸内 望(2C) 鈴木 貴大(2F)  
小野寺祐太(1C) 及川 涼太(1D)  
1回戦敗退 佐々木碧彩(1E)

### 【ボクシング】

- ◎第25回東北高等学校ボクシング新人大会  
2部ミドル級 準決勝  
小山大輔(1D)対弘前工業 TKO負け **第3位**

- 2部ウェルター級 準決勝  
菅原元輝(1F)対青森工業 TKO負け **第3位**

### 【弓道】

- ◎第52回県高等学校新人大会  
男子 団体 40射23中 決勝トーナメント進出 **ベスト8**  
個人 藤野 亮(2C) 8射7中 決勝進出 **ベスト8**

### (文化部)

#### 【書道部】

- ◎奈良21世紀フォーラム第4回書道展  
入選 千葉 明美(3B)
- ◎第14回宇野雪村賞全国書道展  
入選 千葉 明美(3B)
- ◎第42回岩手県書道作品コンクール(書道選抜生も出品)  
特選 遠藤 京花(1B)・菅原 綾(2E)  
畠山 未歩(2E)・千葉 明美(3B)  
準特選28名 金賞32名 銀賞14名 銅賞2名  
※特選以上は3/19(水)~3/25(火)県民会館に展示

#### 【吹奏楽】

- ◎2013年度全日本アンサンブルコンテスト一関支部大会  
フルート三重奏 銀賞  
クラリネット五重奏 **金賞**(3位通過 県大会推薦)  
サクソ三重奏 **金賞**(1位通過 県大会推薦)  
金管七重奏 銀賞

- バリ・チューバ三重奏 銀賞  
打楽器三重奏 金賞

- ◎2013年度全日本アンサンブルコンテスト県大会  
クラリネット五重奏 **銀賞**  
サクソ三重奏 **銀賞**

### 【音楽】

- ◎岩手県合唱小アンサンブルコンテスト 銅賞

### 【演劇】

- ◎第36回岩手県高等学校総合文化祭演劇部門  
優秀生徒講評委員 遠藤 桜(1C)

### 【写真】

- ◎平成25年度岩手県高等学校文化連盟写真専門部スライドフォトコンテスト

- 特賞 佐藤可奈子(2E)  
入賞 菅原 七海(1E)・二瓶 鈴菜(1F)  
佳作 菅原 七海(1E)・佐藤可奈子(2E)

### (生産技術科)

- ◎岩手県専門学校生徒の産業に関する研究文・作文コンクール  
作文の部 **最優秀賞** 及川 亜矢(3E)  
**全国大会推薦、佳作入賞**  
佳作 小野寺華輝(1E)・菅原 綾(2E)  
熊谷彩也佳(2E)・小岩 夏季(3E)  
研究文の部 佳作 生産技術科 食物分會6名(3E)

生徒の活動

産業技術科

ジュニアマイスター顕彰制度  
プラチナ特別表彰 1名  
ゴールド表彰 8名  
シルバー表彰 11名 受賞

今年度は延べ27名が受賞し、HR取得率は2・3年生共に過去最高の40%超を達成しました。1・2年生には、3年生に追いつき追い越すことを期待したいです。昨年度は、岩手県の加盟校13校のうち電気系の学科から延べ133件の表彰申請があり、本校は20・3%を占めることになりました。こうした成果は先生方の理解の下、部活動と両立して国家試験に取り組んだ成果です。地域や保護者の皆さんにも知っていただき、次年度も応援していただければ幸いです。

表1. H25年度表彰状況の内訳

	3 F	2 F	学科
プラチナ	1		1
ゴールド	4(4)	4(4)	8(8)
シルバー	5(9)	6(10)	11(19)
合計	10(13)	10(14)	20(27)

表2. 入学時からの表彰状況と取得率

	3 F	2 F	学科
プラチナ	1		1
ゴールド	7(7)	5(5)	12(12)
シルバー	11(18)	7(12)	18(30)
合計	19(25)	12(17)	31(42)
HR取得率[%]	48.7(64.1)	41.4(58.6)	29.7(41.6)

( )は延べ人数を集計しています。

第一種電気工事士 5名合格  
(実技試験100%)  
第二種電気工事士 16名合格  
(実技試験100%)

第一種電気工事士に合格して

産業技術科 3年 小野寺伸哉  
(トヨタ自動車大学校スマートモビリティ科)

私は、2年生のときに第二種電気工事士に合格し、さらに第一種電気工事士を受けましたが筆記試験の結果、あと1問が足りずに不合格でした。このとき同級生6名が合格していて、とても悔しい思いをしました。3年生になり、進学先のスマートモビリティ科で電気自動車について学びたいと考え、2年生のときに第二種電気工事士の取得や低電圧などの電気の知識を学ぶことを知りました。すでに第二種を取得していましたが、もつと学ばなければいけないと思い、2回目の受験を決意しました。資格に挑戦する経験が進路選択に役立ちました。



ジュニアマイスター受賞者



第一種電気工事士合格者



第二種電気工事士合格者

産業技術科 3年 佐藤 諒  
(株式会社トークス内定)

私は、株式会社トークスから内定を頂きました。トークスは、電気工事関係の仕事をしていて、将来的には第一種電気工事士の資格が必要となります。トークスの面接試験では、第一種電気工事士の有無を問われましたが、このときはまだ第二種しか取得していませんでした。そこで私は、筆記試験の合格に向けて取り組んでいる課外のことや過去問の得点状況を説明し、合格する見込みと入社への熱意をアピールしました。内定が決まった後は、実技試験に必ず合格しなければならず、ひたすら勉強し、先生方のおかげもあり合格することができました。今回の経験から、不利な状況でも自分の目標に向けてアピールすることは大切なことだと思いました。

産業技術科 2年 小野 裕貴

実技試験は、1年に1回、全国10地区でしか受験出来ないため、修学旅行の最終日に関西地区の大阪府で受験しました。私は、筆記試験免除のため会場が割り当てられ、地下鉄の難波駅から泉北高速鉄道に乗り換えて和泉中央駅まで向かいました。孤独な試験となりましたが、練習の成果を最大限に発揮することができました。慣れない環境の中でも全員合格することができていたことが大きな経験をする事ができました。学年の先生方、添乗員の皆さん、ありがとうございました。

産業技術科 2年 菊池健太郎

私は、大学の工学部へ進学すること希望しています。第一種・第二種電気工事士の資格取得に励むうちに高電圧の電気工学に興味を持ち、進学を希望するきっかけになりました。将来は、鉄道の高圧受電設備の保安監督者として活躍したいです。私たちは、学年や部活動の先生方が応援してくださり、配慮していただいたおかげで合格することができたと思っています。

産業技術科 2年 佐藤 潤也

試験対策は完璧だったのですが、梅田の地下街で道に迷ってしまいました。しかし、親切なおばさんに会場まで案内してもらい、無事にたどり着くことができました。実技試験は、直前の知らない人に道を聞くという経験のおかげで緊張せず、いつも以上に力ができました。帰りの昼食(お好み焼き)が美味しかったです。後輩たちも頑張ってください。

生産技術科

生産技術科3年生 学習成果発表会

卒業する3年生が保護者やこれまでもお世話になった職員を招いて学習成果発表会を行いました。  
 フードデザイン選択者は生産コースが作ったお米や野菜を使って80名分のお弁当をつくりました。メニューも生徒たちが考えたものです。

被服選択者は自分が製作した洋服をコーディネートし、ファッションショーをしました。音楽、ショーの構成、ウォーキングも全て生徒が企画運営しました。  
 生産コースの生徒は作物、野菜、草花分會ごとに研究内容の発表をしました。

学習成果発表会に参加して

3年E組保護者 加藤久美子(諒)

1月24日、生産技術科3年生の学習成果発表会を見に行きました。内容は3年間の課題研究や総合実習で取り組んできた学習内容と研究成果の発表でした。生産コース、生活コースがそれぞれのグループごとに、保護者や先生方、1・2年生の生活コースの生徒と、たくさんの方でわかりやすく発表していました。3年間で見ることがえるほど、いろいろなことを身につけていたのにはとても

も驚きました。高校でどんなことをやっているか家ではなかなか話すことがなく、同じクラスの生徒たちや保護者のみなさんともなかなか会う機会がなかったので参加して初めてわかることが多くありました。どの発表も素晴らしいものでしたが特にファッションショーはパブリックを見ているかのように華やかでした。生徒のみなさんはモデル歩きをマスターし、なりきって堂々と発表していて素晴らしいかったです。聞けば、資格もたくさん取得し、社会に出て役立てるよう頑張ってきたんだなあと改めて思いました。何といっても最後はお待ちかねの昼食タイムです。お弁当も生徒たちの手作りで、プロが作ったかのように彩りもよく食欲をそそる、華やかで豪華なお弁当で、大満足、大満腹でした。このような素晴らしい発表会はこれからも続けていって下さい。最後に、生徒の皆さん、生産技術科で3年間学んだことは自分の財産なので、これから社会に出てもどんなことも乗り越えて素敵な大人になって下さい。陰ながら応援しています。また、子どもたちをここまで指導して下さいました先生方にはとても感謝しています。



スライドを使っでの学習内容発表

生徒の活動



80人分のお弁当づくり



愛情を込めて作ったお弁当



みんなで記念撮影



親子で楽しく会食



大盛況だったファッションショー

来年度に向けて

踏み出す



1学年主任  
小川 賢作

高校生活の1年も終わろうとしています。4月6日の入学式以来、さまざまな行事が続き、気がつけば「夏休み」に突入。その「夏休み」も慌ただしく過ぎ、9月。学校に慣れたこの頃から時間の経つスピードも速くなってきたのではないのでしょうか。

新年度をむかえるまでのこの時期(3月)の過ごし方が今後の高校生活を左右します。この「切り替え」の時に乗り遅れないようにしましょう。

「定期考査」において反省ばかりが思い浮



2学年主任  
瀧口 千明

平成26年が明け、新しい年になりました。2年生の皆さんは、最後のそして有終の美をかざる年となりました。昨年、修学旅行で京都へ行った際に2学年の先生方と北野天満宮へ全員の就職・進学合格をお祈りしてきました。お賽銭も入れ、お札も手に入れてきましたので必ずや御利益があるものと信じております。

さて、2年生の皆さんは後半から進路に関する行事が目白押しで忙しかったことと思います。3年になればなおさら多忙になります。前半は高総体・高文連の大会もあります。野

かぶあなた。今なら、この時期ならぎりぎり間に合います。時間の使い方を見直し、将来の自分を裏切らないためにも学習への取り組みを強化しましょう。

「志」を持ち、入学したはずなのに、少しビントがずれてきているあなた。千厩高校は立ち止まってしまったあなたのことを、あなたが前を向いている(向こう)としている)限り、追いついてくることを信じ、待ち、応援し続けます。全ての人が、いつも順調に人生を歩んでいるわけではありません。高校1年が終わる地点に立っているみなさんが、この1年間をしつかりと振り返り、入学前の思いとそのズレを修正し、しっかりと「自分の道」にその一歩を踏み出していくことを信じています。

球の県大会もあります。夏休み前には、就職先を選定してもらいますし、進学希望者には課外授業も始まります。昨年度に比較しますと、企業見学会などさまざまな行事を先行して実施していますので目標を早めに定めて希望先に全員が合格することを願っています。

今の2年生は震災後の入学で、震災があつたがために、全国的には目的意識が高い世代といわれています。また、脱ゆとりの新カリキュラム世代であります。近隣の高田高校バレーボール部の生徒や東陵高校のがんばりを見るに勇気付けられますし、もつと頑張らなければならぬという気になります。「意志あるところに道は開かれる。」です。最後まであきらめず、皆目標が突破できることを願っています。こういうところが千高生の良いところだと思います。がんばりましょう。



PTA会長  
千葉 弘之

震災から三年目の春を迎えて

雪が多く寒さも厳しい今年の冬でしたが、日ごとに春の気配が感じられるようになって参りました。会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃より本PTAの活動に對しまして、事業運営にご理解とご協力をいただき心より感謝申し上げます。また、卒業を迎えられる生徒をお持ちのご家庭の皆様におかれましては、3年間の高校生活を終えられ、晴れの門出を迎えられたことを心よりお慶び申し上げます。

東日本大震災という未曾有の大災害を経験した私達は3年を経過しようとしていますが、今なおその影響を抱えながら生活しています。丁度この春卒業される皆さんが、入学する直前に発生したのです。いろいろな苦労があつたことと思いますが、そのことは苦境を乗り越える力になっていきます。喜びの多い人生を歩んで欲しいと願っております。

末筆になりますが、本会の活動に對しご尽力いただきました皆様に感謝し、本校の益々の発展と、若き世代の活躍、皆さんのご多幸をお祈りし感謝の言葉といたします。

編集後記

立春とはまだ寒い日が続きます。2月には、大雪に見舞われ都心では45年ぶりの大雪で千厩に至つても30センチは積もつたようです。

昔年の翼も今年度最後の発行となりました。今回の記事の内容は、卒業を迎える月と一言ことで卒業がメインの記事になっています。

3年生、保護者の皆様ご卒業おめでとうございませう。

この17年間は、本当にたくさんの方々に支えられてきました。その中でも学校の先生方には感謝もひとしおです。これからの子供達は、それぞれ未来へ一歩踏み出します。きっと明日からの日々の中で、ふとこれまで歩

平成25年度進路決定状況 (2/14現在)

※就職進学は進学で集計

学科	男女別	進学										就職					自営	進学準備等	総計
		国公立大	私立大	国公立短大	私立短大	医療系専修	専修・各種	文部科学省管轄外	小計	受験	県内	県外	民間	公務員	小計	未定			
普通科	計	4	2		6	3	17	27	18	6	24	2	26	1			71		
	男女計	5	5		8	7	16	16	9	7	16	2	16				73		
	計	9	7		8	9	22	3	58	43	27	2	42	1			144		
生技科	3E					3	5		4		4		4				9		
	男女計				3	1	4	8	11	9	20		20				28		
	計				3	1	6	3	13	15	9		24				37		
産技科	3F		1				7	5	13	8	18		26				39		
	男女計		1				7	5	13	8	18		26				39		
	計	4	3		2	15	11	35	27	30	24	2	56	1			119		
総計	男女計	5	5		11	8	20	49	16	20	16	36	36				101		
	計	9	8		11	10	35	84	43	50	40	2	92	1			220		

んできた学校生活、友達、そして先生の事を思い出してください。そして、どれも自分にとってかけがいのないものだったと噛みしめ感謝の思いがわく日が来るでしょう。まだまだ未熟で不安定な子供達を導き今日まであたたく見守って下さった先生方から心からお礼申し上げます。さて、本年度最後のPTA会報も無事発行を終えることができました。これも保護者の皆様や学校関係者の皆様のおかげです。この紙面をお借りしてお礼申し上げます。1年間ありがとうございました。また、来年度は調査広報委員さんらにレベルアップし皆様に会報がすばらしかったと言われるように頑張りたいと思います。